

かけはし

令和5年度

発行 第4号

令和5年9月25日

厚木市教育委員会

社会教育課



令和5年度 地域学校協働活動推進員 委嘱状交付式

6月6日（火）に地域学校協働活動推進員の推薦者である公民館地区館長の同席のもと、佐後教育長から委嘱状が手渡されました。厚木市教育委員会では「学校情報をもとに公民館を核にした地域づくり」を目指して、地域と学校の情報をつなぎ、協働活動に結び付けていく『地域学校協働活動推進員』を配置する取組を始めています。

これまでの2年間のモデル研究が終わり、令和5年度から本格実施とし、令和7年度までに段階的に全校に推進員を配置していく予定です。



委嘱状交付式の様子

厚木南地区：熊崎 昌司（厚木第二小学校）
 依知南地区：高部 三智（依知小学校）、小島 章子（依知南小学校）、星野 由紀子（依知中学校）
 睦合南地区：永井 明（清水小学校）、猪熊 孝志（妻田小学校）、前頭 七恵（睦合東中学校）
 小 鮎 地 区：臼井 基樹（小鮎小学校）、飯谷 裕子（飯山小学校）、内山 佳子（小鮎中学校）
 玉 川 地 区：加藤 隆（玉川小学校）、秋山 勝茂（玉川中学校）
 南毛利地区：縄田 奈緒美（毛利台小学校）※南毛利小学校、戸室小学校、南毛利中学校は令和6年度配置予定
 森の里地区：飯田 佳奈（森の里小学校）、今若 直征（森の里中学校） 計15人【敬称略】

令和5年度 地域学校協働活動地区研修会

「地域学校協働活動」の理解と推進のため、本年度より公民館が中心になって、地区ごとに研修を行うことにしました。

これまでに、森の里地区・南毛利地区・睦合南地区での研修を行い、多くの地域住民や教職員が活発な意見交換を行いました。

今年度は、これからも小鮎地区・厚木南地区・玉川地区で行います。



地区研修会の様子

地域学校協働活動推進員連絡会

台風第13号が過ぎ去った翌9月9日（土）、推進員の方々に集まっていただき、地域学校協働活動推進員連絡会を開催しました。委嘱状交付式以降、初めての全体での連絡会となり、情報交換や研修を行いました。推進員からは活動報告や意気込みなどを伺いました。

推進員からの 報告・情報

・当地区では以前から学校と地域のつながりを感じていますが、違う側面から何か出来ないかと模索しています。二年生対象の九九名人の掛算は学校と地域のつながりを強め、追っては三年生の割算名人へと発展できないか、また、ジュニアリーダーや子供たちが地域で活躍できる場を増やすことはできないか考えています。【小学校】

厚木南地区

交通指導の様子。みんな真剣な眼差し。



睦合南★こどもフェスタ★



様々なゲームで交流

依知南地区

・校内ボランティアの相談、また地域の環境美化やゴミのポイ捨て防止を目的に花植え活動をしている地域団体「フラワーロード」の代表と児童との協働活動について、学校と日程調整などをしました。【小学校】

・3年生の授業を拝見しました。元宝塚のお二人の朗読劇を見終えた児童が活発に挙手し、感想や質問をする様子に感心しました。【小学校】

・花壇ボランティアの募集を公民館だよりに掲載していただき、1名の方が応募してくださいました。この夏、早速、8月と9月に花壇整備をしていただき、とてもきれいになりました。【中学校】

睦合南地区

・これまで通学路の見守りをしてくださっていた老人クラブが解散したため、新たに自治会傘下に見守り隊を結成し、活動することにしました。【小学校】

・8月に小学校を会場にこどもフェスタが開催されました。厚木警察による交通指導もあり、色々なゲームを通して子ども達と地域の方が交流をし、楽しいひと時を過ごしました。【小学校】

・8月にPTAと学校運営協議会主催の「校地内外の除草作業」を地域の皆様のお力を借りて実施できました。【中学校】

推進員からの 報告・情報

・放課後子ども教室がスタートしました。地域の様々な特色特技を持った方にお越し頂き、普段経験できない様々な体験を子ども達に提供しています。【小学校】

・今年度より「飯山ボランティア」の募集が始まりました。地域の方や保護者が気軽に楽しく学校ボランティアに参加してもらえるように声を掛けて後押ししています。

【小学校】

・プール清掃で私が間に入り高圧洗浄機を地域からお借りし、作業がスムーズに進みました。学校と地域がWinWinの関係になるよう意識して活動しています。担当校だけでなく小鮎地区全体でこれまで以上に学校と地域がつながり、教育や子育てが盛り上がってほしいと思います。【中学校】

小鮎地区

玉川地区

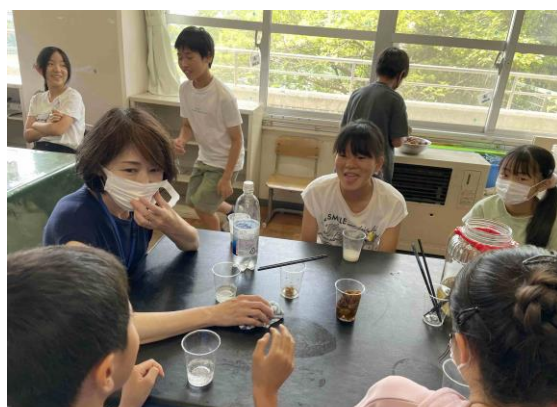
・地域で培った経験や活動を子どもたちに伝え、様々なことを体験させていきたいです。【小学校】

・生徒会と「地域と学校一緒にできる事(仮)」のテーマで話ができたらと思っています。また、自分が地区外在住であるため、まずは顔見知り、顔なじみになることをしたいです。【中学校】

・夏休み最後の一週間「Let'sラジオ体操」を開催！児童スタッフの子ども達が大活躍しました。

秋には地域と「あいさつ運動」を計画中です！【小学校】

南毛利地区



森の里★梅ジュースパーティ(上)と夏の集会(下)★



森の里地区

・一学期に行われた授業をきっかけに児童が“地域の一員”として地域の活動に参加したり、自らお祭りを取材したり、地域の方に声をかけたりする姿が見られ嬉しかったです。【小学校】

・地域と学校(生徒)との協働活動の企画、実践の難しさを感じています。今年度は、地域事業に生徒の有志がボランティアで活躍することから実践していきます。生徒たちが地域のことを考えるきっかけを作っていきたいです。【中学校】

推進員の企画力について

～学校情報から協働活動につなげるためには？～

推進員連絡会では今後の活動にいかしていただくため、研修を兼ねてグループごとに話し合いを行いました。

「推進員って何をするの？」誰もが最初に持つ疑問です。厚木市地域学校協働活動推進員規程にはその職務が5点にわたって明記されています。その中でも、やっかいでわかりづらいのが「企画」という言葉の意味。一体何をする事なのか・・・。

様々な研修会では、推進員は「企画」したものが実現できた時の喜びはとても大きいと言われていますが、企画なんてすぐにできるものではありません。そこで、今回ははじめの一步として、新聞記事から、どんな活動に展開できるかを考えてみることにしました。

新聞に、全国学力学習状況調査結果の概要が掲載され、そこには中学校の英語「話す(スピーキング)」の平均正答率12%と書かれていました。この記事を見たときに皆さんは何を感じましたか？考えましたか？

- うちの学校はどうなんだろう？
 - 先生はどんな分析をしているのだろう？
 - そもそも英語って必要なのかな？
 - 学校運営協議会で話題にしてみよう？
- 問題を考え直さなければいけないという人
指導方法や内容改善を変えるべきという人
環境整備を整える必要があると訴える人
会話の機会や時間を増やすべきという人
地域ボランティアをお願いしたらという人



研修会の様子



情報交換会の様子

立場が違えば考えることは違います。

「英語」は本当に必要なのか？学校教育だけで力が身につくのか？学校運営協議会で聞いてみたらどうだろう？協働できることはないだろうか？

記事を見ただけではわからないはたくさんあります。疑問に思ったことを声に出すことが「企画」の第一歩になるのではないのでしょうか。こんな話がまとめとなりました。

学習指導要領には、「より良い学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を共有し、それぞれの学校において、(中略)、社会との連携・協働によりその実現を図っていく」ことが重要と書かれています。

厚木市では、「学校情報をもとに公民館を核にした地域づくり」をスローガンに事業展開をしています。「学校情報をもとに」とはどのようなことを言うのでしょうか。学校運営協議会で熟議した話題、先生の何気ない一言・・・。直接の声でなくても「新聞」「チラシ」「SNS」等々、学校の話(子ども)は、その気になればいくらでも見つけることができます。

「コーディネーターはきっかけを見逃さない」「空想はすなわち実行の原案(福沢諭吉)」「コーディネーターは仕掛ける」。今回は、こんなキーワードを出しながら、企画力に結び付く「目」や「意識」とはどのようなものかを考えました。

(統括コーディネーター 中川洋太)

協働活動推進員連絡会は年間3～4回開催し、今後も情報交換を行っていく予定です。